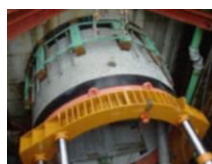


一般社団法人日本トンネル技術協会

JAPAN TUNNELLING ASSOCIATION (JTA)



社会を支え、未来へつなぐトンネル・地下空間
8月1日は「トンネルの日」



(一社)日本トンネル技術協会は令和 7 年
(2025年)に設立50周年を迎えました

事業目的と設立経緯

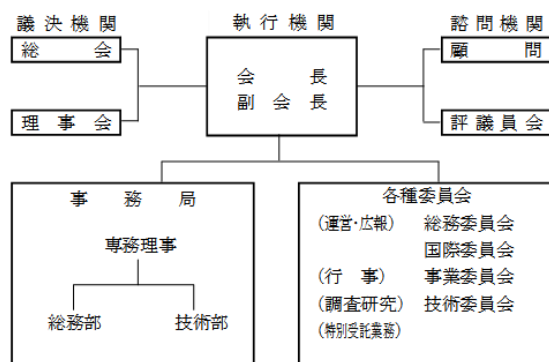
日本トンネル技術協会は、トンネルおよび地下空間の建設及び維持管理に関する調査研究を行い、地下利用技術の進歩向上を図ることによって、国土の保全と公共の福祉の増進に寄与することを目的とし、1975年(昭和50年)8月に運輸省・建設省(現国土交通省)認可による社団法人として設立されました。

2013年(平成25年)4月には、新公益法人法に基づき「一般社団法人」への移行が認可され、「一般社団法人日本トンネル技術協会」に名称を変え、活動を行っています。

1975年の設立以来、産官学各方面の協力により幾多の成果を得るとともに、各種事業を活発に行って参りました。

また、OECD(経済協力開発機構)の勧告により1974年に設立された国際トンネル協会(ITA)の日本代表機関として、国際トンネル協会の総会、理事会、作業部会、シンポジウムなど、各種事業に参加協力し、各国との間の技術情報交換を活発に行い、国際技術交流を図っています。

組 織



主な事業内容

本会が行っている主な事業は、次のとおりです。

- ① トンネルの調査・設計・施工技術、安全・環境、維持管理等に関する調査研究
- ② トンネル技術に関する各種調査研究の受託
- ③ 国内外の情報・資料の収集および図書の刊行
- ④ 講演会、現場研修会、施工体験発表会、講習会等の催物の開催
- ⑤ 国際トンネル協会(ITA)等を通じた国際的な技術協力と技術交流

会員の現況

(令和8年3月現在)

会員種別	会員数
正会員	1,172
団体会員	196
特級	1
特A級	23
A級	5
B級	10
C級	15
D級	142
個人会員	976
一般会員	747
推薦会員	215
特別会員	11
名誉会員	3
学生会員	4
賛助会員	226
合 計	1,402

会員の特典

- 本会の機関紙「トンネルと地下」(月刊)を無料でお届けします(バックナンバーの有料コピーサービスも行っています)。



- 技術委員会等の調査研究の成果である刊行図書を会員価格で購入できます(完売図書は、有料コピーサービスや貸し出しも行っています。一部は無料でダウンロードできます)。

- 本会開催の各種催物に会員価格で参加でき、その都度参加証明書を発行しています(CPD 単位が取得できます)。

- 本会のウェブサイトにおいて、施工体験発表会論文検索システム等の会員限定の情報が利用できます。

- 団体会員の連絡窓口には、催物開催、図書刊行などを直接お知らせしています。

- 世界トンネル会議(WTC)への参加および論文発表のサポートを受けられます。

- メールマガジンにより、催物開催等の情報をお届けします。

トンネル技術の普及活動

- 会誌「トンネルと地下」(月刊)によりトンネル技術の普及を図っています。

主な掲載内容は、以下のとおりです。

- トンネルの設計・施工・維持管理に関する論文
- 海外の文献やニュースから技術価値の高い翻訳記事
- 常設委員会などの調査研究成果の紹介、本会の活動報告

- 各種の講習会等を実施したり、技術情報を発信しています。

- 現場研修会(毎年8回程度、募集人員概ね20人/回)、講演会、講習会、施工体験発表会、研修会などを開催しています。
- 委員会活動成果の報告書を発行し、会員へ頒布をしています。
- 本会のウェブサイトにおいて、トンネルに関する技術情報、各委員会の活動情報を発信しています。

講習会等開催の様子



現場研修会



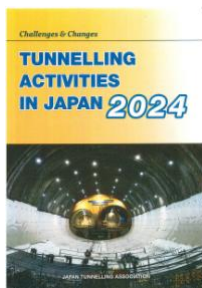
施工体験発表会



ステップアップ研修会

国際活動

- ITA 日本国内のトンネル工事状況などを、隔年で“Tunnelling Activities in Japan”として隔年発刊し、海外に情報を発信しています。



- ITA の論文集“TUST(Tunnelling and Underground Space Technology)”および各種海外文献を入手し、国内向けに興味のある事柄について抄訳し、本会のウェブサイトで紹介しています。

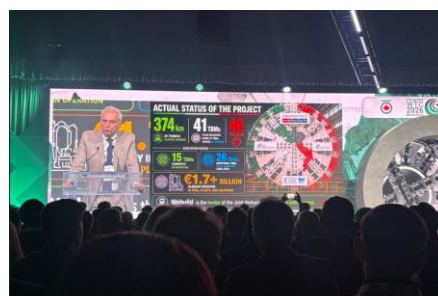


- ITA が情報発信している ITA-Website、SNS(X、LinkedIn、YouTube)およびニュースレターScoop-it ITA-AITES を通じて、海外の技術情報を提供しています。



- 本会は ITA に設置されている 15 部門の作業部会(WG)、ヤングメンバー(ITAym)及び 6 つの委員会を通して、各国の技術情報交換や勧告書の作成などに取り組んでいます。

- ITA の総会および作業部会に参画するとともに、ITA 総会と併催される世界トンネル会議(WTC)にトンネル技術者を派遣し、講演会、討論会、論文発表等を通じて技術情報の国際交流・協力を図っています。また、団体会員と共同して技術展示を行っています。



第52回 ITA 総会
(2026 年 モントリオール)

ITA加盟国 (2026年6月現在 81か国)50音順

アイスランド	アゼルバイジャン	ア メ リ カ	アラブ首長国連邦	アルジェリア	アルゼンチン
アルバニア	イ ギ リ ス	イスラエル	イ タ リ ア	イ ラ ン	イ ン ド
インドネシア	ウ ク ラ イ ナ	エクアドル	エ ジ プ ト	オーストラリア	オーストリア
オ ラ ン ダ	カ タ ー ル	カ ナ ダ	.カザフスタン	韓 国	カンボジア
北マケドニア	ギ リ シ ャ	クロアチア	グアテマラ	ケ ニ ア	コスタリカ
コロンビア	サウジアラビア	シンガポール	ス イ ス	スウェーデン	ス ペ イ ン
スロバキア	スロベニア	セルビア	タ イ	チ エ コ	中 国
チ リ	デンマーク	ド イ ツ	トルコ	ナイジェリア	日 本
ニュージーランド	ネ パ ー ル	ノルウェー	バブアニューギニア	ハンガリー	パキスタン
パ ナ マ	フィリピン	フィンランド	ブ ー タ ン	ブラジル	フ ラ ンス
ブルガリア	ベ ト ナ ム	ベネズエラ	ペラルーシ	ペ ル ー	ベルギー
ポーランド	ポルトガル	ボスニア・ヘルツェゴビナ	ボ リ ビ ア	マレーシア	南アフリカ
ミャンマー	メ キ シ コ	モ ロ ッ コ	モンテネグロ	ラ オ ス	ルーマニア
レ ソ ト	レ バ ノ ン	ロ シ ア			

各種の委員会活動

委員会活動として、4つの常設委員会の下に小委員会または幹事会を設置しているほか、受託(請負)の調査研究に対処する特別委員会を課題ごとに設置しています。

① 総務委員会

本会の事業運営上重要な事項、広報および他の委員会に属さない事項を担当しています。

② 国際委員会

国際トンネル協会(ITA)、その他海外情報交流に関することを担当しています。

③ 事業委員会

催物行事に関することを担当しています。

④ 技術委員会

トンネル工事の施工技術、安全、環境、保守管理などトンネル・地下空間の技術に関することに対応するため、現在、6つの小委員会を設置して活動しています。

技術委員会

- 山岳工法小委員会
- 都市トンネル小委員会
- 安全環境小委員会
- 保守管理小委員会
- 共通技術小委員会
- 技術変遷史編集小委員会

技術委員会の構成

関連する各種催物のアンケート結果等を参考に会員のニーズを反映した活動に努めています。

各小委員会内でより詳細な技術・課題を検討する場合は、ワーキンググループ(WG)を設置し、活動を行っています。

⑤ 受託業務特別委員会

本会は、設立以来、各種の公益性のある調査研究と受託(請負)研究を実施し、委託者の要望に応じています。

これまでに、国、特殊法人、地方自治体などの公共機関や民間企業から、トンネルや地下利用に関する一般的な諸問題(契約積算、調査・設計、施工技术、保守管理技術)および個別の設計・施工技术に関する調査研究など、多岐にわたる実績を有しています。

また、本会は高度な専門技術を有する団体会員(官学民)約 200 団体、個人会員(官学民)約 1,000 人と本会の各種委員会委員延べ約 600 人による多彩な支援体制が整っています。

受託(請負)業務では、これらを基盤として、客観的な検討を実施するため、必要に応じ官学民による特別委員会を構成し、対応しています。



JTA ウェブサイトと E-mail 配信の紹介

本会では、会員の要望に応えるため、ウェブサイト、メールマガジンやX(旧Twitter)を活用して積極的な情報提供を行っています。



JTAウェブサイト

(<https://www.japan-tunnel.org/>)

JTAウェブサイトは、協会活動全般にわたる事柄を掲載しています。また、ウェブサイトでは会員に限定した情報も提供しています。

メールマガジンの配信による催物情報等の案内

JTA会員に向けた広報の一環として、催物情報等のメールマガジンを1～2回/月の頻度で配信しています。

メールマガジン登録者制度を設けて会員外にも情報を発信しています(登録はウェブサイトの登録フォームから)。

Xアカウントによる催物情報等の案内

([https:// x.com/JTA_kouhou](https://x.com/JTA_kouhou))

令和5年4月から広報の一環としてXで情報発信しています。催物等の情報提供を希望する方は上記のURLより、Xアカウントのフォローをお願いします。



トンネルの日 8月1日

1975年に本会が設立された8月1日を、設立50周年を記念して「トンネルの日」と令和7年に決めました。トンネルの日を中心として各種の取り組み・広報活動を毎年行い、それらを通じてトンネル・地下空間への関心を高めていきます。

トンネルの日のページ

(<https://www.japan-tunnel.org/tunnelday>)

トンネルの日の開催イベント

親子見学会、団体会員との連携見学会、技術講演会などを実施します。JTAウェブサイトなどで案内しますので、ご参加をお待ちしています。



もぐち

(トンネルの日 イメージキャラクター)

JTAビジョンと関連事業の実施

令和元年度に本会の活動指針となるビジョン（JTAビジョン2019：今後10年程度の活動目標・方向性）を策定し、活動を行っています。

（<https://www.japan-tunnel.org/jtavisoin>を参照。）

JTAビジョンに関連して、以下の事業を実施しています。



研究助成制度（令和3年度～）

研究助成部門（助成額100万円／年）

研究奨励部門（若手研究者、助成額20万円／年）

大学等個人会員限定、最大3年間

学生会員制度（令和3年度～）

会員の特典は一般会員と同等

年会費は3,000円

年会費無料の「JTAクラブ」会員制度が発足（令和7年度～）

表彰制度（令和3年度～）

- ・功績賞：トンネル技術の発展に顕著な功績があった者
- ・功労賞：本会の発展に特別な功労があった者
- ・トンネル施工等優秀技術者賞：トンネルの施工等分野において、特に優秀な技術を有すると認められる者

産学官の意見交換会（令和6年度～）

「イブニングセミナー」として年1回程度

意見交換概要はウェブサイトにおいて会員限定で公開



JTA ビジョン 2019



会員活動

会員メリットを拡大し、幅広い分野からの会員加入を促進するとともに、会員間コミュニケーションの向上を図り、協会活動の活性化を図ります。

自主研究

社会的背景を踏まえつつ会員の意見・ニーズを反映したテーマを選定し、より実務的な成果を志向して自主研究を推進します。

JTAは、トンネル・地下空間分野における産官学からなる唯一の学術団体として、幅広い会員の力を生かし、トンネル・地下空間の建設、維持管理に貢献します。

人材育成 支援

幅広い会員の知識・経験により、体系的に次世代を担うトンネル・地下空間技術者を育成するための情報や機会を提供します。

国際活動

わが国のトンネル・地下空間建設・維持管理技術の国際的プレゼンスを向上するための活動を推進します。



一般社団法人日本トンネル技術協会

〒104-0045 東京都中央区築地 2-11-26 築地MKビル6階

TEL.03-3524-1755 FAX.03-5148-3655

URL : <https://www.japan-tunnel.org/>



2026.7